

福井市非営利公益市民活動促進助成
事業実施計画書

1 事業名	「市民活動ステップアップ事業」(リサーチ編) ～ 現場にとどけよう! ミッションという糧 ～
2 事業実施主体	(所在地) 福井市米松1丁目12-26 サーパス米松704号 (団体名) 特定非営利活動法人市民活動研究所ステップふくい (代表者氏名) 堀野 亘求 (連絡先) TEL 090-6668-6237 E-mail step-fukui@canpan.info
3 事業実施期間	平成 21 年 6 月 1 日から平成 22 年 3 月 31 日まで
4 事業の目的	<p>NPO法の成立後、福井市内の市民活動や地域活動は多様に広がり、活動の特性を活かしながらさまざまな社会課題について貢献してきている。</p> <p>その成果は、自治体との「協働事業」や、地域、他団体、企業との連携事業など、積極的に地域の問題解決に取り組む市民セクターが団体の存在を確立し、信頼をつなげている。しかし、その反面活動に慣れるとイベント型の事業に偏る傾向も見られ、<u>本来の団体の持つミッションから離れた事業に熱を上げ、終了してしまうことも多い。</u></p> <p>そこで、当法人は中間支援組織として、こうした活動の基盤整理を課題に、<u>それぞれの「やりたい想いをよりはっきりさせる」</u>ために現場に直接出かけ、ヒヤリングを行いながら市民活動の独自性を引き出す。</p> <p>活動のミッションは「やりたいこと(チャレンジ)×「やれること(アクション)」がうまく絡み合えば、意欲的に現実とのギャップも克服でき「あるべき姿」につながる。この調査では、あえて明かしくい活動の現状も丁寧に検証することを目指し、リサーチした内容を次のステップアップとして活用できるよう、ノウハウをカタチとしたスキル本を作成する。</p> <p>本事業は、調査研究(検証→編集→発行→評価)を目的とし、将来の福井市の市民活動における広域的かつ継続的支援に寄与したい。</p>
5 期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ① 市民活動の現場の声が集められる ② 活動者同志の信頼がカタチに反映される ③ 公平な立場で課題検証し情報提供ができる ④ スキル本として広域的に有効使用できる。 ⑤ 個人も手軽に入手できる。 ⑥ 活動の学習会などに活用できる。 ⑦ 組織の検証のきっかけになる。
6 事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> (1) 実施場所 (1) 福井市内(公的集客施設など) (2) 対象者 (2) 福井市の一般市民、NPO・市民活動関係者、社会貢献団体関係者、地域活動・公民館活動団体関係者、ボランティア団体関係者、各種公益法人・大学・行政等関係者 (3) 広報方法 (3) 当法人広報誌・チラシの配布・配送・自治体や公共施設の情報コーナーへの配架、当法人ブログおよびHP(立ち上げ予定)、各報道機関への広報、当法人賛助会員・セミナー参加者を対象者など

<p>(4) 内容と方法</p> <p>【検証】</p> <p>【編集】</p> <p>【発行】</p> <p>【評価】</p> <p>(5) 実施体制</p> <p>(6) その他</p>	<p>(4) 【検証→編集→発行→評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直接、中間支援組織のコーディネーターが、多様な協働事業の対象者に直接面談し課題抽出していく。 ヒヤリングの対象は、代表者だけではなく、より現場に近い活動の従事者による声や利用者を重点に拾い上げる。主な内容は、現場で起こりえるさまざまな課題を、客観的に整理し、市内事例の課題も県外の先駆的事例とリンクさせたスキル本として作成する。 ・編集会には、当法人が持つネットワークを活かしさまざまな立場の方を巻き込み意見を伺いながら公平にすすめる。 ・市内のNPO法人をはじめ各関係機関に広く配布 ・発行の評価会（講演など）を開催（予定） <p>(5) 平成21年6月 編集会～取材 平成21年12月 発行（予定） 平成22年3月 評価会（予定）</p> <p>(6) 講師・日程・等については交渉の都合上の変更あり</p>
<p>7 事業の特徴</p>	<p>【 現状の調査～活動支援へ 】</p> <p>当法人は、中間支援組織として設立以来、さまざまな手法で研修会やセミナー、講座相談事業を開催し活動する人たちの声を直接受け止めてきた。</p> <p>その中で、イベント事業に追われミッションを見失いチカラ尽きてしまう活動者が多いことにも気付く。</p> <p>こうした活動への熱き想いの現状課題を「つなぐ仕事」の中間支援組織が整理し、本来自分達が焦点としたい領域の現状や、社会的問題点をともに発見し整理できる機会につなげたい。</p>
<p>8 その他</p>	<p>但し、評価会においては発行内容に応じて対応を検討する。</p>

記入欄が不足するときは、別紙を添付してください。

福井市非営利公益市民活動促進助成

事業収支予算書

収 入

(単位:円)

科 目	金 額	内 訳
福井市助成金	500,000	
事業収入	30,000	@300円×100人 (講演会資料代)
自己負担	338,700	
計	868,700	

支 出

(単位:円)

科 目	金 額	内 訳
1 報償費		
・講師謝礼	90,000	@30,000円×1人 @20,000円×3人
・ヒヤリング 相手先謝礼	75,000	@5,000円×15件
小計	165,000	
2 旅費		
・講師交通費	34,000	@15,000円×2人(県外) @2,000円×2人(県内)
・講師宿泊費	16,000	@8,000円×2人(県外)
・ヒヤリング交通 費	10,000	ガソリン代
小計	60,000	
3 需用費		
・講師飲食費	8,000	@2,000円×4人
・印刷費	50,000	@50,000円×1回(チラシ料・資料等)
・印刷製本費	380,000	500部(調査報告書)
・消耗品費	30,000	チラシ・資料用紙代他(文具・インク等)
小計	468,000	
4 役務費		
・通信費	88,600	@80円×500通×2回(報告書・DM発送代) @180円×20通(資料宅配代) @5,000円(電話代)
・原稿料	50,000	@10,000円×5人
・保険料	2,100	@2,100円×1回(NPO保険)
小計	140,700	
5 使用料・賃貸料		
・会場設営費	10,000	@10,000円(看板制作等)
・会場使用料	10,000	@10,000円
小計	20,000	
6 その他		
・ボイスレコーダー	15,000	(ヒヤリング取材時使用)
計	868,700	